

平成23年度第3回庄原特別支援学校公開研修会

特別支援教育を視点にした小中連携について

平成23年12月26日(月)

庄原市立東城小学校

庄原市立東城中学校

指導教諭

教諭

掛 照子

六谷 新

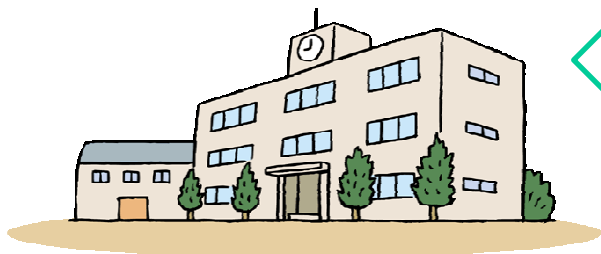
東城中学校

栗田小学校

小奴可小学校

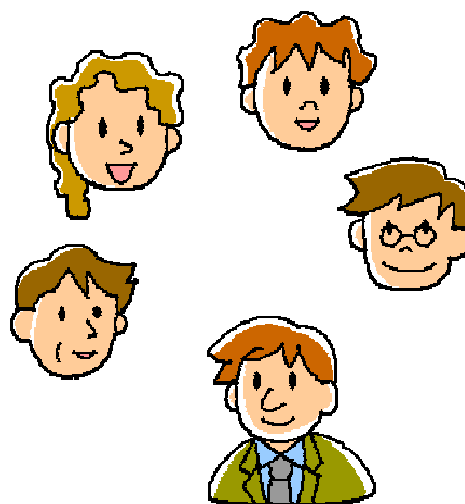
東城小学校

八幡小学校



東城町小中連携組織

- 校長会
- 教務主任会
- 生徒指導主事会
- 養護教諭部会



東城町特別支援教育合同研修会



- 校長
- 特別支援教育コーディネーター
- 特別支援学級担任

中学校進学に関わる小中連携

| | |
|-----|---|
| 1学期 | <ul style="list-style-type: none">・中学校の授業参観・生徒の実態交流 ※必要に応じて連携を取り合う |
| 2学期 | ※必要に応じて連携を取り合う |
| 3学期 | <ul style="list-style-type: none">・小学校の授業参観・中学校教員による出前授業・中学校での入学説明会(児童及び保護者対象)・中学校進学児童の引き継ぎ ※必要に応じて連携を取り合う |

発表内容



(1) 学校の見童・生徒数と学級数

(2) 特別支援学級在籍児童・生徒の連携

(3) 通常の学級に在籍している
支援の必要な児童・生徒の連携

(4) 成果と課題



庄原市立東城小学校



| | |
|-----|-----------------------------|
| 児童数 | 287名 |
| 学級数 | 14学級 (通常の学級:11 特別支援学級:3) |

| 特別支援学級 | | |
|--------------|------------------|---------------|
| 知的障害 (5名) | 自閉症・情緒障害 (2名) | 肢体不自由 (1名) |

庄原市立東城中学校



| | |
|-----|---------------------------|
| 生徒数 | 190 |
| 学級数 | 7学級 (通常の学級:6 特別支援学級:1) |

| |
|--------------|
| 特別支援学級 |
| 知的障害 (4名) |

(2) 特別支援学級在籍児童・生徒の連携

○平成21年度(A児)

○平成22年度(B児)

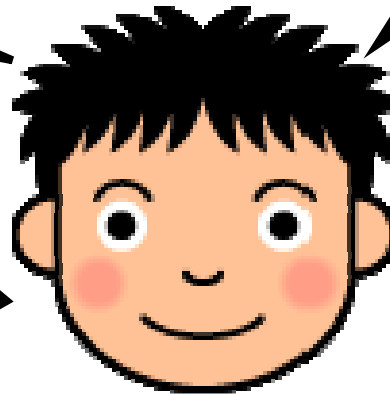
○平成23年度(C児)

A児の実態

元気な声であい
さつができる。

気持ちが安定してい
ると、ていねいなこと
ばづかいができる。

母親思いでやさしい。



否定的な声かけをさ
れると、かっとなる。(衝
動性)がみられる。

因果関係の理解が
難しく、想像力が乏し
い。

登校は、母親の車
で来る。

配布資料では青字削除

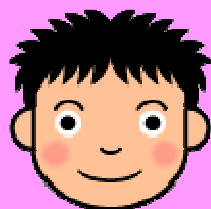
A児に関わる小中連携

～通常の学級の連携に加え, さらに～

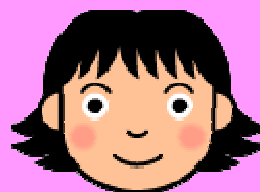
- ① 特別支援学級での入学体験授業
- ② 3者懇談(保護者・中学校・小学校)
～母親・校長・担任～
- ③ 中学校での児童実態説明会(職員研修)

A児に関わる小中連携

① 特別支援学級での入学体験授業



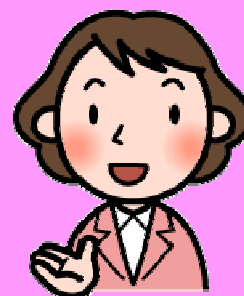
A児



中学生



担任



A児に関わる小中連携

② 3者懇談(保護者・中学校・小学校)

～母親, 校長, 教頭, 担任～



A児に関わる小中連携

③中学校での児童実態説明会（職員研修）
～平成22年3月29日～

☆東城小学校の特別支援教育

☆A児の実態



③中学校での児童実態説明会(職員研修)

～平成22年3月29日～

A児の自己紹介

名前

〇〇〇〇

好きな勉強

国語

好きな食べ物

やき肉

将来の夢

警察官



好きな動物

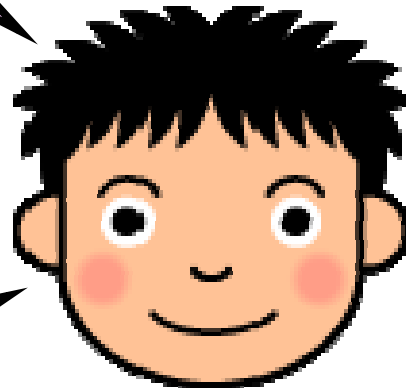
ライオン

中学で入りたいクラブ

パソコン

家族

母親・姉・祖父



③中学校での児童実態説明会（職員研修）

～平成22年3月29日～

- ・否定的な声かけをされると、かっとなる。
- ・衝動性がみられる。

肯定的評価

望ましい行動パターンの学習と習得

周りの集団の理解

障害のある人への理解や配慮のできる生徒の育成

本人の能力に合った教育内容の創造

本人ができること、大人になって必要なことを中心に行う。

母親の心の安定

月1回の巡回相談

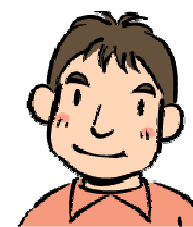
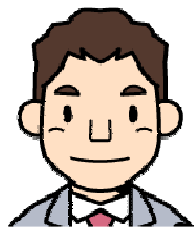
③中学校での児童実態説明会（職員研修）

～平成22年3月29日～

本人が好きなこと・得意なことは何ですか。

かっとなった時はどうするのがいいですか。

A児を取り巻く集団（同級生）はどうですか。



A児に関わる小中連携

保護者の方は、A児の将来をどのように考えておられますか。



- ・めざすA児の姿を，保護者と学校が共有する。
- ・指導に一貫性をもたせる。

B児の実態

ダウン症候群

サッカーと野球が大好き。
野球部に入りたい。

見通しをもって行動することが大切で、予定の変更は受け入れにくい。

人の役に立つことが大好きで、ほめられるととてもやる気が出る。

相手が話していることは概ね理解できる。しかし、発音が不明瞭なため、自分の思いを相手に伝えることが難しい。

ウルトラマン、ポケモン、カルタが大好き。

自分の居場所や活躍できる場がないと、その場からいなくなることもある。

家族が大好き。

配布資料では青字削除

B児に関わる小中連携

人的環境の変化
(先生・生徒)



物的環境の変
化
(学校)

コミュニケーション

B児に関わる小中連携

～通常の学級の連携に加え, さらに～

- ① 特別支援学級での入学体験授業
- ② 3者懇談(保護者・中学校・小学校)
～母親・校長・教頭・担任・教務主任・養護教諭～
- ③ 中学校での児童実態説明会(職員研修)

B児に関わる小中連携

① 特別支援学級での入学体験授業



B児



中学生

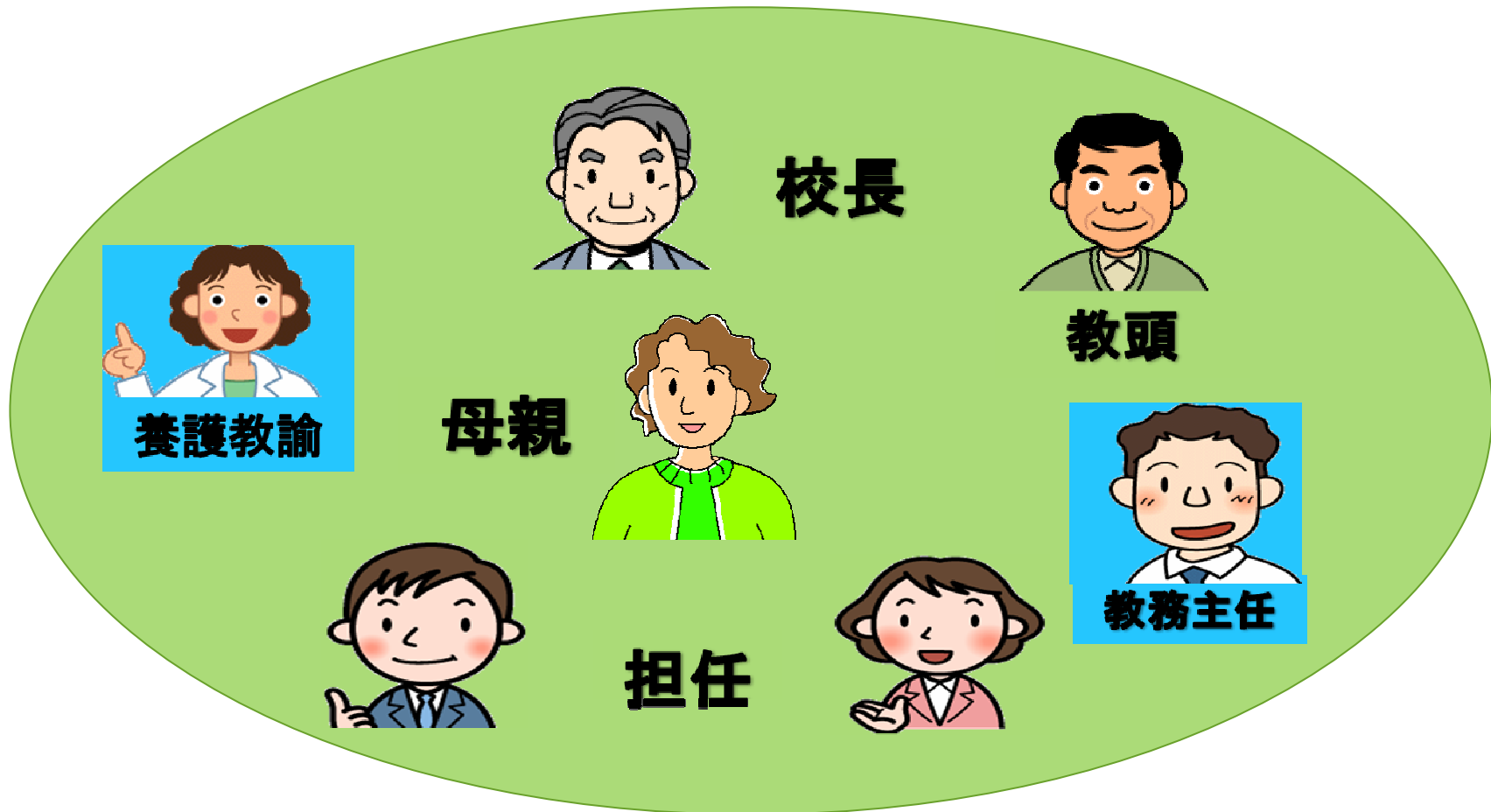


担任



B児に関わる小中連携

② 3者懇談(保護者・中学校・小学校)
～母親・校長・教頭・担任・教務主任・養護教諭～



B児に関わる小中連携

② 3者懇談(保護者・中学校・小学校)
～母親・校長・教頭・担任・教務主任・養護教諭～

(1) B児の障害(ダウン症候群)の理解

(2) 通学路の確認

(3) クラブ活動



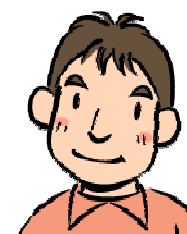
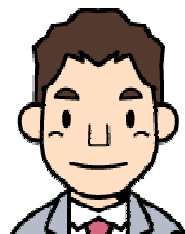
B児に関わる小中連携

③中学校での児童実態説明会（職員研修）
～平成23年3月29日～

☆ダウン症候群について

☆B児への指導の実際について

☆同級生との関わり



B児に関わる小中連携

ダウン症候群：コミュニケーション能力
：体温調節機能

通学：安全の確保はできるか

部活動：活動について行けるか
3年間継続できるか

C児の実態

特技は神楽である。

社会性があり、
同学年の児童との
関係は良好である。

リーダーとしての
自覚があり、下学
年にやさしい声掛
けができる。



発音が不明瞭な時
がある。(特に、拗
音、幼長音、濁音
等。)

IQは80で、療育
手帳は取得してい
ない。2歳程度の
発達の遅れがみ
られる。

配布資料では青字削除

C児に関わる小中連携

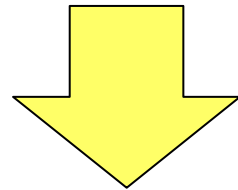
3年先の進路を見据えての不安

- ☆ 特別支援学級の学習内容
- ☆ 高校受験について



C児に関わる小中連携

① 中学校の特別支援学級の授業参観



② 保護者・中学校と小学校の担任との懇談

C児に関わる小中連携

～中学校卒業後の進路～

手に職が付けられる進学先はあるのだろうか？

特別支援学校や公立の高等学校以外にどんな進学先があるのだろうか？



資格がとれる進学先はあるのだろうか？

寮はあるのだろうか？

費用はどのくらいだろうか？

(3) 通常の学級に在籍している 支援の必要な児童・生徒の連携

D児の実態

高機能自閉症

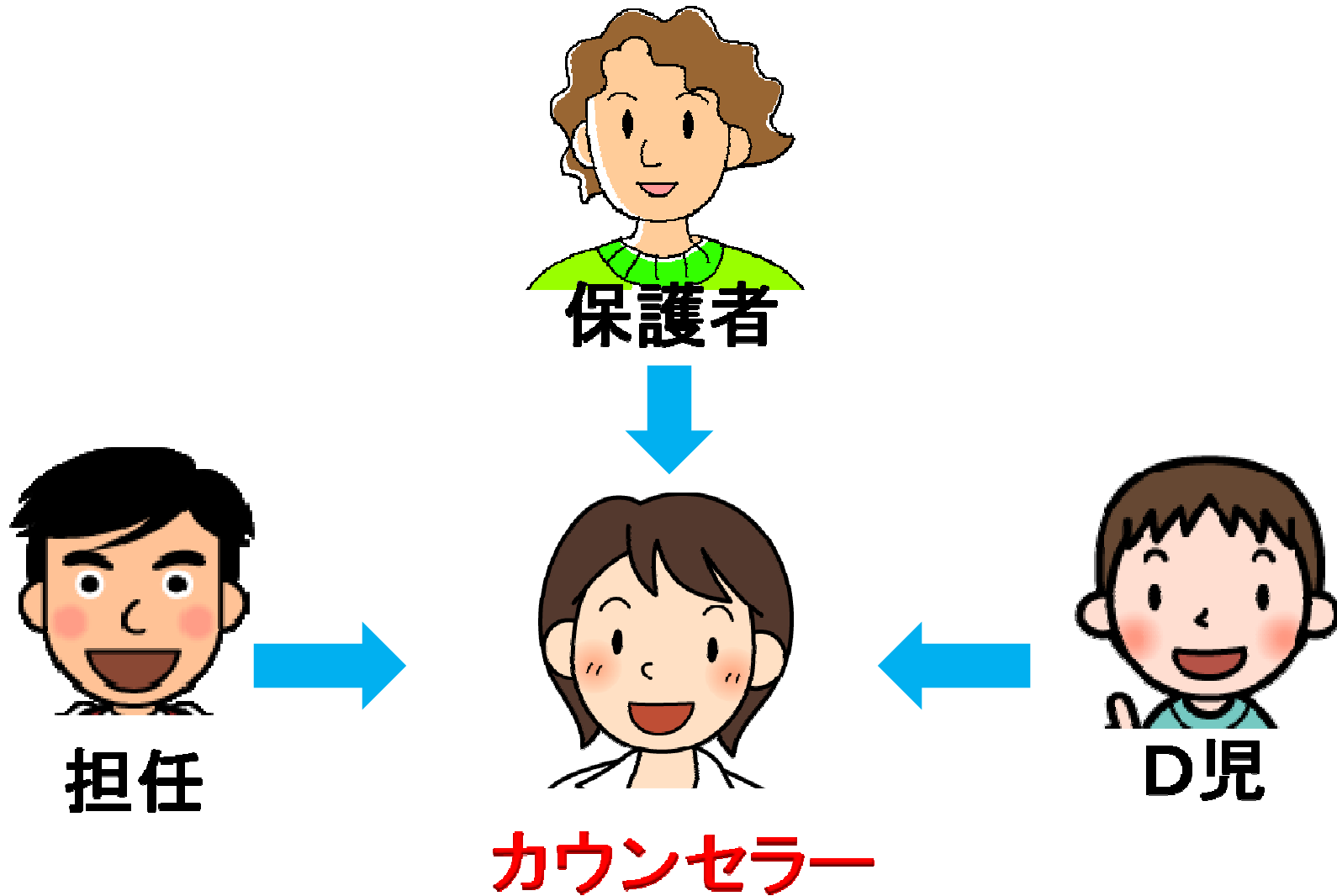
授業中離席し、
教室から出る。

パソコンが得意である。

自分の主張が通らないと、暴力的な言動をとる。

配布資料では青字削除

D児に関わる小中連携



D児に関わる小中連携

<D児の現状把握>

行動・興味・人間関係

<D児を理解するために>

学校カウンセラーからの助言

保護者連携・観察

(4) 成果・課題

< 成果 >

- ① 小学校在籍中に3者懇談（保護者・中学校・小学校）を行うことで、保護者と学校との信頼関係をきづくことができた。
- ② 小学校と中学校が支援の必要な児童・生徒の実態を共通理解することにより、将来的な自立に向けた適切な指導・支援を行うことができた。

(4) 成果・課題

<課題>

- ①引き継ぎの時期や方法を工夫する。
 - ・中学校の担任が決まった時点で再度引き継ぎを行う。
 - ・個別の支援計画や指導計画を有効活用する。
 - ・子どもの困り感の分析と予想を行う。

- ②特別支援教育コーディネーターが小中連携に関わる。

ご清聴ありがとうございました